



ネコの舌は、どうしてざらざらなの

ネコの舌は、くしがわり

ネコの舌は、舌の表面がぎざぎざして、ダイコンやワサビをおろすのに使う、おろし金のようになっています。舌の表面に、小さいとがった出っぺりが、たくさん並んでいるからです。

ネコはきれい好きで、しょっちゅう舌で、体のすみずみまでなめて、きれいにしています。このとき、ざらざらの舌が役に立ちます。ざらざらにひっかかって、毛についたよごれやほこりなどが、きれいにとれます。びっしり生えた毛の1本1本を、ざらざらの舌できれいにできますから、全身の毛がふっくらして、よごれてぺちゃんとなった毛と比べると、冬などは、暖かさがちがいます。

ざらざらの舌は、肉をこそげるのにも便利

水やミルクを飲むときも、ネコは舌でぺろぺろすくって飲むため、このざらざらした舌は、すべすべした舌に比べて、水などをすくいやすく便利です。

ネコは、小さくてかわいらしいけど、ライオンやトラなどと同じ仲間、肉食動物です。野性の肉食動物は、つかまえた獲物の骨についた肉を、この舌のざらざらでなめて、そぎとって食べます。骨までしゃぶるのに、便利な舌なのです。（監修・今泉 忠明）

